

# 平成30年度キャリア教育全体計画

周南市立周陽中学校

**国の施策の方針**  
「若者自立・挑戦プラン」  
↓  
「キャリア教育等推進プラン」  
↓  
「中央教育審議会答申『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』」

**学校教育目標**  
「心身ともにたくましく、自ら学び  
共によりよく生きようとする生徒の育成」

**生徒の様子**  
・授業や諸活動に前向きに取り組む生徒が多い。  
・あいさつができ、素直な生徒が多い。  
・活躍の場を与えられれば力を発揮する生徒が多い。  
・集会時など聞く姿勢ができています。

**小学校・高校との連携**  
・学習内容の関連付け  
・体験学習内容等の調整  
・教育課程の連携

- 自ら進んで学ぼうとする生徒
- ◎知識や技能を活用し、考え・判断し、表現する生徒
- ◎学んだことを生活に生かそうとする生徒
- 地域を愛する生徒
- 自ら進んで地域や家庭に貢献しようとする生徒
- 夢をもつ生徒
- 思いを伝える生徒
- 規則正しい生活を送る生徒 ○いじめを許さない生徒

**地域、保護者の様子**  
・校区内には3つの小学校がある。(周陽、桜木、遠石)  
・近くに商店街やスポーツ施設がある。  
・PTAを中心に保護者が協力的である。  
・地域の活動が盛んである。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <b>【心身たくましく】</b><br>●笑顔で活力あふれる生活を支えるよい生活習慣<br>●最後まであきらめない、くじけない粘り強さ<br>●自分も人も大切にできる誠実で思いやりのある態度 | <b>【自ら学び】</b><br>●自ら課題を見つけ、解決しようとするチャレンジ精神<br>●自らの考えに基づいて、判断しようとする探求力<br>●知識・技能を活用し、新たなものを創造しようとする力 | <b>【共によりよく生きる】</b><br>●目標・志を掲げ、実現のために努力し続ける力<br>●つながりを大切にして、自分の責任を全うする力<br>●情熱と誇りをもって、社会に参画・貢献する力 |
|---|---|---|

**キャリア教育指導目標**

- ・一人ひとりのキャリア発達への支援とその的確な把握に努める。
- ・キャリアに関する学習と教科等の学習との相互補完性を重視するとともに、体験や講話を通し職業や進路への関心意欲の高揚と学習意欲の向上に努める。
- ・将来、職業人として自立し、時代の変化に柔軟に対応できる幅広い能力の育成に努める。
- ・働くことの意義を理解させ、自立意識の涵養と豊かな人間性を育成する。

人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
---------------	-------------	--------	--------------

各学年におけるキャリア発達にかかわる課題		
1年	2年	3年
○自分のよさや個性が分かる。 ○自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。 ○集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。 ○将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。	○自分の言動が他者に及ぼす影響について理解する。 ○社会の一員としての自覚が芽生えたとともに、社会や大人を客観的にとらえる。 ○将来への夢を達成する上での現実問題に直面し、模索する。	○自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。 ○社会の一員としての参加には義務と責任が伴うことを理解する。 ○将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服するための努力に向かう。

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成就感・達成感や自己有用感を育む授業に心がけ、将来の職業生活に必要な基礎的知識・技能の習得を図る。</li> <li>・キャリア発達に必要な4つの基礎的・汎用的能力を育成するための学習支援を意図的・継続的に実践する。</li> <li>・学ぶ喜びをもち、主体的に学習する(やる気)生徒を育成する。</li> <li>・定期的な授業評価(生徒・保護者による)により授業改善を図る。</li> <li>・生徒の実態に即した学力向上プランを実施する。</li> <li>・研究授業により授業力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする態度を育成する。</li> <li>・勤労の尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努めようとする道徳的実践力を育成する。</li> <li>・発達の段階に応じて指導内容を重点化し、体験活動を推進する。</li> <li>・道徳の時間を要として、すべての教育活動で実践する。</li> <li>・先人の伝記、スポーツなど感動を覚える教材を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>学級活動</b> ・生活上の諸問題の解決、組織づくりや仕事の分担処理などの活動、個人および社会の一員としての在り方、学校生活の充実および将来の生き方と進路の適切な選択に関することなどの指導の充実を図る。</li> <li><b>生徒会活動</b> ・学校生活の充実・改善向上を図る活動やボランティア活動を通して将来設計能力や意思決定能力などを培い、個性の伸長や社会性を高める。</li> <li><b>学校行事</b> ・奉仕的行事における職業や進路に関わる啓発的な体験やボランティア活動などの自主的・自発的な活動を通し、主体的態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。</li> <li>・3日間の職場体験学習、ボランティア活動などの社会体験、宿泊体験学習、修学旅行での体験活動、高校体験入学、観察・実験、見学や調査、プレゼンテーションや討論などの学習を充実させる。</li> <li>・集団生活への適応や進路の選択にかかるガイダンス機能の充実を図る。</li> <li>・部活動は人間関係形成・社会形成能力を高める場として重要であり、生徒に積極的な活動を促す。</li> <li>・積極的な生徒指導を推進し、豊かな人間性や社会性、集団生活に必要な規範意識やマナーを育み、生徒一人ひとりの自己指導能力を培う。</li> </ul>

**地域・他機関との連携**  
・コミュニティ・スクールの活用  
・キャリアアドバイザーの活用  
・地元事業所、高校、高専、大学との連携  
・3地区の公民館、小学校との連携を

**保護者との連携**  
・PTA、父親の会との連携  
・家庭の役割の自覚と学校教育への積極的な参画

**個別指導**  
・年1回以上のキャリアカウンセリングの実施(教育相談の中で)  
・目標設定と実践力の向上